

## 催し盛りだくさん 行田蓮まつり

7月18日、古代蓮の里で第13回行田蓮まつりが開催されました。

今や行田を代表するイベントの一つになったこの祭り。今年は時間を延長して午後3時まで行われ、多くの人出でにぎわいました。

物産展や熱気球の試乗、金魚すくいなどの催しのほか、メインステージでは炎暑の中よさこいソーラン踊りなどのさまざまなステージイベントが行われ、来場者の注目を集めていました。



## チーム一丸となって

6月26日、グリーンアリーナで第20回行田市綱引き大会が開催され、市内の小学生60チーム、614人が参加しました。

試合開始のホイッスルが鳴ると、家族や仲間から熱のこもった声援を受けた選手らは、チーム一丸となって勝利を目指し、「オーエス」と声を掛け合いながら、力を振り絞りました。手に汗握る熱戦が何試合も繰り広げられ、会場は熱気と興奮に包まれていました。

## 志茂田景樹さんが行田を満喫

7月16日、小説家の志茂田景樹さんが、古代蓮や田んぼアートを見学しに、行田市を訪問しました。

まず、市役所を訪れた志茂田さんは、工藤市長から来訪の歓迎を受けた後、古代蓮の里へ赴きました。志茂田さんは、蓮を間近に見て写真を撮ったり、展望タワーから田んぼアートを眺めたりと、旬を迎えた行田の観光名所を満喫しているようでした。



## 総合学習で青大豆を栽培

7月15日、見沼中学校の2年生が、学校東側の畑で、行田在来青大豆の種まきを行いました。

これは、総合的な学習のひとつとして昨年からはじめた取り組みで、種をまき、収穫し、味わうという一連の体験を通して食育を推進するものです。秋には収穫した大豆を使って豆腐などを作る予定となっている生徒たちは、大豆の成長を楽しみにしながら種をまいていました。